

経営管理実施権配分計画

1 個別事項

丙が経営管理実施権の設定を受ける森林(A)									Aの森林所有者(甲)				
番号	所在	地番	林班	小班	地目	面積ha	現況樹種	現況林齡	住所又は所在地	氏名又は名称	丙が甲にDを支払うべき時期、相手側及び方法	丙が乙にEを支払うべき時期	備考
1	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10921-1	64	9	雑種地	0.04	ヒノキ	51				別添3参照	—
2	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10928-1	64	1	山林	4.35	ザツ	82				同上	—
3	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10928-1	64	1	山林		スギ	72				同上	—
4	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10928-1	64	1	山林		スギ	45				同上	—
5	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10928-1	64	1	山林		ヒノキ	45				同上	—
6	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10928-1	64	1	山林		ヒノキ	43				同上	—
7	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10928-2	64	1	山林	0.04	ザツ	82				同上	—
8													
9													
10													
11													
12													

この計画に同意する。

権利の設定を受ける者（丙）

住 所（同上） 株式会社フロムフォレスト 代表取締役 森田 修由

権利の設定をする市町村（乙）

住 所（同上） 広島市長 松井 一實

（記載注意）

- (1) この個別事項は、経営管理実施権の設定を受ける者が異なる場合には、別葉とすること。
- (2) (B) 欄は、「〇年」又は「〇〇年〇〇月〇〇日まで」と記載すること。
- (3) 備考欄には、経営管理権集積計画の整理番号を記載すること。
- (4) 共有者不明森林又は所有者不明森林に係る特例により定められた経営管理権集積計画に基づく森林の場合は、特例手続により定めた旨が分かる書類を添付するとともに、備考欄に記載すること。また、森林所有者が変更となった場合は、新たな森林所有者と元の森林所有者の氏名、住所が記載された書類を添付すること。
- (5) 当該経営管理実施権配分計画の内容に関して丙が乙に提出した企画提案書及び図面を添付すること。

2 共通事項

この経営管理実施権配分計画の定めるところにより設定される経営管理実施権及び経営管理受益権は、1の個別事項に定めるもののほか、次に定めるところによる。

(1) 経営管理実施権に基づいて行われる経営管理の内容

丙は、1の個別事項に記載された森林（以下「当該森林」という。）の経営管理のため、1の個別事項に定めるところにより立木の伐採及び木材の販売、造林並びに保育（以下「伐採等」という。）を実施し、木材の販売による収益（以下「販売収益」という。）を收受するとともに、販売収益から伐採等に要する経費を控除してなお利益がある場合にその一部を甲に支払う事業を実施すること。

(2) 善管注意義務

- ① 丙が経営管理実施権に基づき経営管理を行うに当たっては、善良なる管理者の注意を持って甲の利益に最も適合するように配慮しなければならない。
- ② 甲は、この経営管理実施権配分計画の定める事項について、丙に対して義務の履行を求めることができる。

(3) 監督義務

乙は、丙に対して当該森林の経営管理の状況等について報告を年1回徴収することで、当該森林において経営管理が行われるよう努めなければならない。

(4) 報告義務

丙は、乙に対して当該森林の経営管理の状況等について年1回報告しなければならない。

(5) 経営管理実施権の対象とする森林

当該森林にある立木は、甲に帰属する。

(6) 経営管理実施権及び経営管理受益権の設定

この経営管理実施権配分計画の公告により、丙に経営管理実施権が、甲及び乙に経営管理受益権（金銭の支払を受ける権利）が、それぞれ設定される。

丙に設定された経営管理実施権は、この公告の後において当該森林の森林所有者となった者（国その他の森林経営管理法施行規則に定められた者を除く。）

に対しても、その効力があるものとする。

(7) 経営管理実施権の設定等の条件

- ① 乙は、当該森林に係る経営管理権集積計画を取り消す場合にはあらかじめ丙に通知するものとし、当該経営管理権集積計画を取り消した場合は、当該経営管理実施権配分計画を取り消すものとする。
- ② 乙は、丙が次のいずれかに該当する場合には、経営管理実施権配分計画のうち丙に係る部分を取り消すことができる。
 - ア 偽りその他不正な手段により乙に経営管理実施権配分計画を定めさせたことが判明した場合
 - イ 森林経営管理法第36条第2項各号に掲げる要件を欠くに至ったと認める場合
 - ウ 当該森林について経営管理を行っていないと認める場合
 - エ 経営管理実施権配分計画に基づき支払われるべき金銭の支払又はこれに代わる供託をしない場合
 - オ 正当な理由がなくて（4）の報告をしない場合
- ③ 乙は、災害その他の事由により当該森林において、丙が（1）に掲げる事項を実施することが著しく困難であると認めるときは、この経営管理実施権配分計画のうち当該森林に係る部分を取り消すことができる。
- ④ 丙は、1の個別事項に定める経営管理実施権の存続期間の中途において解約しようとする場合は、甲及び乙の同意を得るものとする。
- ⑤ 乙及び丙は、この経営管理実施権配分計画に定めるところにより設定される経営管理実施権に関する事項は変更しないものとする。
- ⑥ 丙は、当該経営管理実施権の全部又は一部について、第三者に移転若しくは設定してはならない。
- ⑦ 丙の権利義務の全部を承継した者は、当該経営管理実施権についても承継するものとし、丙又は当該権利義務の全部を承継した者は、あらかじめ、その旨を甲及び乙に通知するものとする。

(8) 甲への通知

当該森林について販売収益が生じた場合、丙が甲に対して販売収益、伐採等に要した経費等に係る明細書を通知するものとする。

(9) 森林への立入り及び施設の利用等

- ① 丙は、(1)に掲げる事項の実施のため必要があるときは、当該森林に隨時立ち入り、若しくは丙以外の者を立ち入らせ、又は当該森林に設定された森林作業道その他の施設を使用し、若しくは丙以外の者に使用させることができる。
- ② 丙は、(1)に掲げる事項の実施のため必要があるときは、当該森林内に路網その他の施設を設置し、又は丙以外の者に設置させることができる。この場合において、丙は、当該設置された施設の維持管理を行うものとする。
- ③ 丙は、当該森林の立木が第三者に対して損害を及ぼすおそれがあると認める場合であって、かつ第三者から当該立木について除去等を行いたい旨の申出が当該立木について除去等を行うことを認めることができる。

(10) 災害等による経営管理の不実施

次に掲げる場合において、(1)に掲げる事項を実施する予定の森林について(1)に掲げる事項を実施することが不可能又は不適当になったときは、丙は、当該事項の一部又は全部を実施しないことができる。

- ① 災害その他の原因により当該森林の全部又は一部が損壊したとき
- ② 路網の損壊等により当該森林への到達が困難となったとき
- ③ 当該森林の土地が公用、公共用又は公益事業の用に供されるとき

(11) 損害の賠償

- ① 丙は、丙の責めに帰すべき事由によって甲に不利益を生じさせたときには、その不利益に相当する額を支払うものとする。
- ② 丙の責めに帰すことのできない事由によって甲に不利益が生じたときは、丙は損害賠償責任を負わない。

(12) 経営管理実施権の存続期間の満了時及び消滅時における清算の方法

- ① 経営管理実施権の存続期間の満了した場合において、甲乙丙の間で金銭の支払（1の個別事項に定める丙から甲に支払われるべき金銭及び丙が1の個別事項に定める経営管理の内容の全部又は一部を実施していないことにより、丙が甲から預かった金銭のうち甲に返還すべき金銭除く。）は生じないとともに、立木の所有権は甲に帰属するものとする。
- ② 経営管理実施権の存続期間の中途において経営管理実施権が消滅した場合において、丙が1の個別事項に定める経営管理の内容の全部又は一部を実施していない場合は、丙は甲に対して、実施していない経営管理によって見込まれた利益に相当する額を支払うものとする。

(13) その他

この経営管理実施権配分計画に定めのない事項及びこの経営管理実施権配分計画に疑義が生じたときは、甲、乙、丙が協議して定める。

別添1 経営管理実施権に基づいて行われる経営管理の内容（C）

対象森林					経営管理実施権に基づいて行われる経営管理の内容
① 利用間伐・主伐等	所在	地番	林班	小班	<input type="radio"/> 利用間伐及び利用間伐により生じた木材の販売を実施するものとする。 <input type="radio"/> なお、施業の実施にあたっては、渓畔林における不必要な伐採は控える等、生物多様性に配慮するものとする。 <input type="radio"/> 火災、病虫害及び気象害の予防のため、年1回の森林の巡視を行うものとし、当該巡視は林道からの目視によって判断できる限りで行う。 <input type="radio"/> 経済情勢の変化等により丙が事業計画の変更を希望する場合は、乙と丙が協議して決定するものとする。ただし、変更は、主伐後に植栽した立木の林齢が存続期間中に5年生以上となる期間に限るものとする。
	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10928-1	64	1	
② 巡視活動のみ	所在	地番	林班	小班	<input type="radio"/> 火災、病虫害及び気象害の予防のため、年1回の森林の巡視を行うものとし、当該巡視は林道からの目視によって判断できる限りで行う。
	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10921-1	64	9	
	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10928-2	64	1	

別添2 木材の販売による収益から伐採等に要する経費を控除してなお利益がある場合において甲に支払われるべき金銭（D）の額の算定方法

対象森林					木材の販売による収益から伐採等に要する経費を控除してなお利益 がある場合において甲に支払われるべき金銭（D）の額の算定方法
①	所在	地番	林班	小班	<p>(1. 甲に支払われるべき金銭の額の算定方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 主伐について甲に支払われるべき金銭の額は、木材の販売による収益の額から、主伐に係る経費（路網整備を含む。）、木材の販売に係る経費、主伐後の植栽（鳥獣害防止施設の設置・維持管理を含む。以下同じ。）及び保育に係る経費その他経営管理に要する経費として乙が算定した額を控除した額とする。 <input type="radio"/> 利用間伐について甲に支払われるべき金銭の額は、木材の販売による収益の額から利用間伐に係る経費（路網整備を含む。）、木材の販売に係る経費及びその他経営管理に要する経費として乙が算定した額を控除した額とする。 <p>(2. 木材の販売収益の額の算定方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 主伐及び利用間伐に係る木材の販売収益については、実際に木材を販売して得られた収益の額とする。 <p>(3. 伐採等に要する経費の算定方法)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 乙が算定する主伐に係る経費（路網整備を含む。）、木材の販売に係る経費、主伐後の植栽（鳥獣害防止施設の設置・維持管理を含む。以下同じ。）及び保育に係る経費については、丙が経営管理実施権の設定を受けるに当たって乙に提示し、経営管理実施権配分計画に添付された経費の見積額とする。 <input type="radio"/> 乙が算定する利用間伐に係る経費（路網整備を含む。）及び木材の販売に係る経費については、丙が経営管理実施権の設定を受けるに当たって乙に提示し、経営管理実施権配分計画に添付された経費の見積額とする。 <p>(4. 留意事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="radio"/> 木材の販売収益から差し引いた主伐後の植栽及び保育に係る経費その他経営管理に要する経費は、甲からの預り金として丙が管理する。なお、丙が預かる期間は、預り金の残高がなくなるか、経営管理に係る持ち出しの必要がなくなるまでとする。 <input type="radio"/> 丙が主伐後の経営管理を行うために要した経費の実費が上記（3. 伐採等に要する経費の算定方法）により算定された経費の額を上回る場合については、その差額は丙が負担するものとする。 <input type="radio"/> なお、経済情勢の変化等により木材価格が大幅に下落するなど配分計画に定めた伐採等を実施することが困難になったときは、伐採等の管理計画や経費の見積額等を変更することが出来るものとし、その判断等は乙と丙が協議して決定する。
	所在	地番	林班	小班	
②					

別添3 丙が甲にDを支払うべき時期、相手方及び方法

	対象森林				丙が甲にDを支払うべき時期、相手方及び方法
①	所在	地番	林班	小班	<p><時期></p> <p>○ 丙から甲に対するDの支払について、伐採後、木材の販売収入額が確定後速やかに行うものとする。</p> <p><相手方及び方法></p> <p>○ 次の支払先に支払うものとする。</p> <p>(支払先) 甲の指定する口座</p>
	広島市佐伯区湯来町大字多田字柏木	10928-1	64	1	
②	所在	地番	林班	小班	